



【活動目標】支援現場での三障害一元化を目指し、障害者の存在それ自体を我が事とする価値観をもって、諸事業に真摯に取り組みます

障サ協 広報紙

山口県障害福祉 サービス協議会通信

発行：山口県障害福祉サービス協議会 広報委員会 〒753-0072 山口市大手町9番6号
電話：083-924-2799 FAX：083-924-2798 メール：syougai@yg-you-i-net.or.jp

会員事業所紹介（第10回）

障害福祉サービス事業所 グリーンファーム

誰もが健やかで喜びを実感できる社会を目指して

広報委員が会員事業所を訪問し、支援現場の雰囲気に触れながら、職員や利用者との関わり、事業所の特色やアピール点、課題や悩み等についてお聞きする会員事業所紹介です。

今回は、下関市にある社会福祉法人内日福祉会「グリーンファーム」をご紹介いたします。施設長の友村栄幸さんと利用者の小島理恵子さんにお話を聞かせて頂きました。

1. 開所の経緯をお聞かせください

友村：グリーンファームは平成15年4月に精神障害者の通所授産施設として開所しました。現在の理事長の中本英樹が平成10年に内日（地名）に個人で農園を開いたというのが最初です。理事長の中本は元々精神科の看護師でしたが、農園療法に関心を持ち看護師を辞めて農業大学校に通い自費で土地を購入。当初は花卉栽培の農園を始めました。当時の社会適応訓練事業（精神障害のある方を受け入れて訓練する事業）で数名の利用者からスタートしました。

2. 現在の利用状況や障害特性に応じた配慮や工夫について教えてください

友村：就労移行が定員6名で登録者5名、就労継



トラクターを使った作業も行います

続支援B型が定員25名で登録者31名。障害種別は、精神障害の方が6、7割、残りが知的障害の方です。精神障害者の通所施設として開設したので、精神障害の方の比率が高いですが、障害者自立支援法の施行以降は徐々に他の障害の方も増えていきます。それぞれの障害特性や本人の力に合わせた作業を割り当て出来ることを伸ばします。農業中心で外作業が多く、ビニールハウスで収穫した野菜



列ごとに収穫時期がずれるように栽培

の出荷準備もします。半数以上の方は外勤に出ますが、体力があり可能な方には道具や機械を使用した外作業を主にして頂いています。暑い時期の仕事は、いかに皆をやる気にさせるか、が課題で工賃単価を作業ごとに変えています。昨年度の平均工賃は21,654円でした。さらに上げようと新事業も行っています。

3. 支援で大切にされていることはありますか？

友村：利用者の「働きた

い」というニーズに対し、その可能性をどれだけ広げていけるかです。現在は施策もあり障害者就労に関しては企業も前向きです。

本人のニーズが大前提ですが、働く意識がないとか、今は働きたくないという方の意識を高めたり、何度も就職に失敗し自信を喪失している方に対しては、適切なマッチングで長く働いてもらう事で自信を回復させたり、本人の長所を伸ばしながら出来ない所は補っていくように支援しています。

4. 事業所の特色とアピール点はなんですか？

友村：特色はやはり農作業を中心にした支援です。出荷する野菜等の品質に

もこだわっています。地域の直産所などで販売し新鮮さが好評で売り切れになるくらいです。また新事業としてホップ栽培とクラフトビールの生産・販売に取り組んでいます。工賃の向上は勿論、過疎化の進んだ内日地域を盛り上げたいという思いで始めました。ホップは路地栽培です。つるを真っ直ぐ上に伸ばし栽培するので設備も高さが必要になります。現在の設備はつるが4、5mまで伸びても対応できます。全国の多くのクラフトビール醸造所は国産の生ホップは使えません。生産農家が大手との専属契約ですから、でも徐々に自分でホップを栽培し、



グリーンファーム

設置法人：社会福祉法人内日福祉会
実施事業：就労以降支援、就労継続支援B型
施設長：友村栄幸
〒750-0251 下関市大字植田字弥次郎1398-1
TEL 083-289-5454 FAX 083-289-5455